

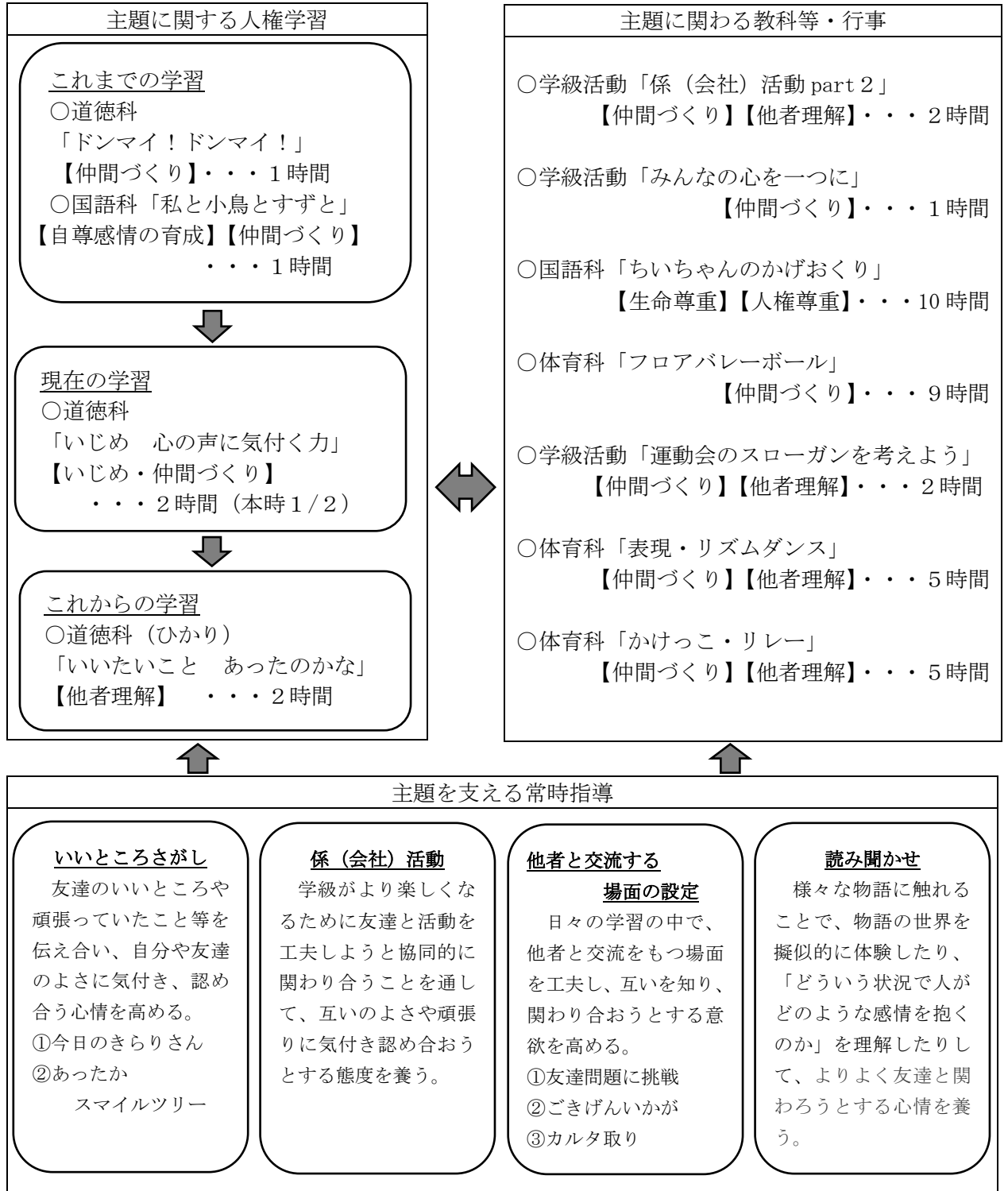
## 第3学年 道徳科（人権）学習指導案

- 1 主題 心の声に気付く力
- 2 主題設定の理由（省略）
- 3 ねらい

自分の言動が相手にどのように伝わるのかを考えたり、相手の言動の変化に気付き見抜いたりする力を育てるとともに、よりよい人間関係を築こうとする心情や態度を育てる。

### 4 指導計画

【 】 普遍的なテーマ・個別人権課題名



## 5 本時について

### (1) 本時の目標

いじめであると判断する理由を話し合ったり、比較したりすることを通して、いじめにつながる芽を見抜く力の大切さについて理解させ、学んだことを生かし実践しようとする意欲を高める。

ねらいとする道徳的価値	C - (13) 公正、公平、社会正義
-------------	---------------------

### (2) 普遍的な学習のテーマ いじめ・仲間づくり

### (3) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点
1 本時の学習課題をつかむ。	○ 本教材を視聴する視点を示し、児童が問題意識をもって学習に取り組むことができるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">           何がいじめで、何がいじめではないのか。         </div>	
2 各場面から問題点を見付け整理し、どの場面からいじめであると判断できるのかを考え、そのように選ぶ理由について話し合う。	○ 話し合い活動を取り入れることで、多面的・多角的に状況を判断し、いじめを受けた側の立場で考えることの大切さに気付かせる。
3 加害者の気持ちをエスカレートさせるものが何かを考える。	○ 観衆や傍観者の画像を提示することで児童がいじめの状況や構図を視覚的にとらえやすくする。
4 どの時点ならいじめをとめられたのかを考え、早い段階でいじめを見抜くことの大切さを理解する。	○ 活動2の考えと比較することで、早い段階でいじめにつながる行為・行動を見抜くことの大切さを理解することができるようにする。①
5 本時の学習で新たに分かったことや気付いたこと、考えが深まったことなどを自分の言葉でまとめる。	○ いじめに対する意識の変容を自覚させ自分の言葉で語るができるようにする。②

### (4) 評価

- ・ いじめにつながる行為・行動を早い段階で見抜くことの大切さを理解することができたか。 【知識的側面】①
- ・ 自分や友達の感じ方や考え方を比較し、多面的・多角的に考え、いじめの芽を見逃してはならないという意欲を高めることができたか。 【価値的・態度的側面】②